

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客との会話では、車や家を購入するといった話が出ており、雰囲気は良くなっている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・クリアランスセールでは前年を上回る売上があり、来客数も多い。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・前年や3か月前と比べて、客単価が上昇している。対前年では2.5ポイントの上昇である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年1月は販売量の動きがあまり良くないが、今月は比較的良い。あわせて来客数の動きもある。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・来客数が増加している。
		通信会社（開発担当）	販売量の動き	・光通信サービスの加入申込が、予想以上に伸びている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・ボーナスが平均的に増えていることに加え、株価の上昇で直接関係のない人も雰囲氣的に良くなっている。また、消費税率の上昇を予想して、その前に住宅購入しようと検討する人も増えている。
やや良く なっている		商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数はあまり伸びていないが、注文客が増えており、良くなる兆しがある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・販売量が目に見えて増加している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	単価の動き	・伊勢神宮の初詣客数は、3が日は年末からの降雪により遠方客を中心に減少しているが、それ以降は週末の人出が増加し、1月全体では例年通りとなっている。また、客単価の回復によって、売上も順調に増加している。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・歳暮ギフト商戦以降も順調に推移している。大雪にもそれほど影響を受けていない。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・気温が低い日が続く防寒具は好調に推移しているが、春物の動きが弱く全体としては前年並みの推移である。ただし、年初のクリアランスや福袋セールは例年になく盛り上がりである。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・月初の福袋、クリアランスセールの立ち上がりは好調であり、1月3日の当店全体の売上は過去最高となっている。月全体でも、気温の影響もあり防寒物を中心に引き続き服飾、雑貨の動きが好調で、売上は伸びている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価にやや回復の兆しが見られ、前年比96%程度から98%近くへ回復している。上質な商品への購買が進み、単価を押し上げている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年と比べて回復傾向にある。土日の天候が悪かった割には、前年並みかそれ以上の来客数のある店舗が多い。
		コンビニ（売場担当）	販売量の動き	・販売量、売上とも伸びている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・寒さが厳しく、季節物の動きが例年より良い。特に原油価格の高騰の影響が、エアコンの動きがいい。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・各メーカーの新型車の投入もあり、来客数は増加している。また決断が早い客が以前に比べると増加している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・1月中旬に新型ミニバンが発売されたが、高額にもかかわらず順調な立ち上がりをみせている。来客数も増え、店舗には活気が出ている。また、1月の受注台数も伸びている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・愛知万博の閉幕後は低迷していたが、年明けからは販売量はかなり好調に推移している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車投入もあり、月末に近づくにつれて販売台数は増加している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・法人関係からの販売量が増加している。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・民間の賃貸マンションを中心に分譲、持家住宅とも堅調である。また会社関係の社屋、オフィス、工場など、民間の設備投資に伴う建築が増えている。		

	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・仕事が忙しくなり休日出勤する人が増えているように、近隣の企業団地からの土日の来客数が増加傾向にある。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数が前月より1割ほど伸びている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・12月に雪が多く忘年会が中止になったため新年会に変更した影響が、今月は例年よりも新年会の客が多く売上増加につながっている。
	その他飲食[仕出し](経営者)	お客様の様子	・年末に比べて財布のひもは固くなっているが、欲しい物、必要な物に対しては、購買意欲は確実に高まっている。
	旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・売上は前年比120~140%で、来客数も増加している。
	旅行代理店(従業員)	それ以外	・各企業の新年の互礼会や新年会が例年以上に多く開催され、当地域のホテルの宴会場や会議室は昼、夜ともフル稼働して大盛況である。
	タクシー運転手	販売量の動き	・そんなに苦労しなくても、売上目標に近いところまで到達できている。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・奥美濃地域のスキー場が業界でも好調な影響もあり、温泉施設への来客数はやや良い状況が続いている。スキーを楽しんだ後に温浴施設でくつろぐ余裕があり、個人消費の回復傾向がみられる。
	ゴルフ場(経営者)	競争相手の様子	・料金の値下げ競争は減っている。一部のゴルフ場では若干の料金引上げをしている。
	その他サービス[語学学校](経営者)	販売量の動き	・単価の高い個人レッスンの増加に加えて、官公庁から短期集中レッスンの受注がある。
	その他サービス[パチンコ機器製造販売](エリア担当)	単価の動き	・客層が二極分化している。上層客の客単価は高く、昨年以上の売上を確保できている。
変わらない	商店街(代表者)	販売量の動き	・土日の来客数は増えているが、販売量はほとんど変わらない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・家電製品はデジタルテレビ以外は魅力に乏しいが、電気給湯機などの電化商品は、高額にもかかわらず確実に伸びている。
	一般小売店[生花](経営者)	来客数の動き	・来客数、販売量とも前年同期と比べて横ばいである。
	一般小売店[贈答品](経営者)	来客数の動き	・三重県北部では、先月の大雪から比べると1月は気候も暖かく、来客数は増えている。
	百貨店(売場主任)	単価の動き	・クリアランスや改装前バーゲンは確かに前年よりも勢いがあり、売上増となっている。ただし売れ行きが良いのはバーゲン品のみで、全体の売上増にはつながっていない。
	百貨店(経理担当)	販売量の動き	・正月商戦は福袋等が非常に好調であるが、その後は月の終盤にかけて息切れしている。
	百貨店(外商担当)	お客様の様子	・訪問販売するなかで、以前なら門前払いだった客が商品を見てくれるようになり、購入客数も増加している。ただし安価な商品が多く、点数は伸びても売上は前年並みである。
	スーパー(店員)	販売量の動き	・週末のチラシ販売は来客数、販売量とも多いが、平日は相変わらず低迷している。
	スーパー(仕入担当)	単価の動き	・気温が例年より低く、特に夜間の来客数が減っている。ただし、野菜の需給バランスが崩れ価格高騰が続いているが、寒さのおかげで鍋商材の売上は例年よりも良い。鍋メニューは関連商材も多く客単価の上昇につながるため、全体としてはほぼ変わらない。
	コンビニ(エリア担当)	それ以外	・売上の前年割れ状態が継続している。
	コンビニ(商品開発担当)	販売量の動き	・商品の販売動向等からみて、改善の兆しが見えない。
	衣料品専門店(企画担当)	販売量の動き	・前年と比較して、寒さにより防寒衣料などの季節商品には一部動きがあるが、その分、春物の動きが良くない。トータルでは大きな変化はない。

家電量販店（経営者）	お客様の様子	・自動車関連を中心とした大企業は良くなっているかもしれないが、中小企業は相変わらず厳しく、客の買物の様子を見てもシビアになっている。
家電量販店（店員）	単価の動き	・パソコンの春モデルの価格設定は高くなっているが、売れ筋はより下のランクの商品に移り、単価上昇にはつながっていない。販売台数は前年同月よりも減少している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年この時期は年度末に向けて活発な問い合わせが始まるが、今年は今月半ばに大きく盛り上がったが、月末にかけて尻すぼみになっている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・昨年末は若干弱含みであったが、年明け以降は昨年末よりは良い。しかし良くなっているというレベルではない。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・決算を前に来客数は増えているが、購入には慎重で、初回の来店から契約までの期間が予想以上に長くなっている。そのため一人の客に対応する時間が長くなり数をこなせず、販売増にはつながっていない。
自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・今月前半はチラシ効果もなく、来客数が少なく苦戦していた。今月後半に入り、チラシの反応が出るようになったが、全体的には来客数は低迷している。家電量販店でもカー用品が販売されるようになり、客が分散している。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・既存店の来客数は、毎月若干の変動はあるものの前年比で増加傾向が続いている。
観光型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・柱のひとつである婚礼宴会の受注件数、一件当たりの利用者数、利用単価が、全般的に落ち込んでいる。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊客単価、レストランの客単価は、愛知万博閉幕後も維持している。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・新年会の利用は例年並みにとどまり、新規での利用が少ない。
旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・客からの注文発生時期が相変わらず遅い。
旅行代理店（経営者）	競争相手の様子	・年度末で販売の追い込み時期であるが、原油価格の高騰に伴う航空運賃の値上がり分を客に転嫁することが難しく、売上が増えても利益は横ばいの状態が続いている。
タクシー（経営者）	来客数の動き	・売上増につながる客の数が少ない。
タクシー運転手	単価の動き	・金曜日など夜の繁華街の客は相変わらず多く、今月は初詣の参拝客、デパート客、病院通いの客も加わり、好調が続いている。
タクシー運転手	来客数の動き	・昨年末が良かったため期待を持っていたが、1月に入ってから客数が減り、前年の水準に逆戻りしている。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・今月はキャンペーンを実施しなかったこともあり新規契約数は減少しているものの、予想したほどには悪くない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・公共入札などで利益の減少が続いており、まだ厳しい状態である。現状維持もなかなか難しい状況である。
通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・インターネット関係商品の問い合わせは増えているが、受注率は相変わらず低い。
テーマパーク（総務担当）	来客数の動き	・屋外施設のため、寒さが影響して来客数は前年比15ポイントの減少である。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月も雪の日が多く冷え込みも大変厳しく、入場者数は今一歩である。ただし、気候条件の悪さを差し引くと例年並みである。
パチンコ店（店長）	来客数の動き	・来客数は例年と比較すると減少しているが、3か月前と比較するとあまり変化はない。
設計事務所（職員）	それ以外	・構造計算書の偽装問題の影響で、建築士に対して厳しい目が向けられるという大変な状況になっている。
設計事務所（営業担当）	それ以外	・受注が依然として減少している。
住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・相変わらず単価の安い物件から売れており、値引き要求も多い。

	住宅販売会社 (従業員)	それ以外	・構造計算書の偽装問題の影響で、建築確認申請等の処分までの日数が長くなっており、工期が長引いている。また、分譲マンションの構造に対して疑心暗鬼になる客もあり、賃貸マンションに変更する客が増加している。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	単価の動き	・一時期良くなっていた客単価が、ここにきて再び低下してきている。前年同月と比較しても、一人当たりの客単価は低下している。	
	商店街(代表者)	販売量の動き	・営業日数が少ないうえに寒さが厳しく、客足は今ひとつである。	
	一般小売店[酒](経営者)	来客数の動き	・成人の日まではなんとか例年並みの売上を維持していたが、9日を過ぎて急激に来客数が減少し、売上も激減している。連日の寒さが一番の原因と考えられる。当店では衣料品など防寒物は扱わないため、寒さにはお手上げである。	
	一般小売店[時計](経営者)	来客数の動き	・来客数が少ないだけでなく、客単価も低い。	
	スーパー(経営者)	販売量の動き	・スーパーでは野菜の高値が続いており、販売量も減少している。また客単価も上昇していない。	
	コンビニ(エリア担当)	競争相手の様子	・正月3が日にスーパーの時間延長や24時間化、元旦営業、飲食店の時間延長などの異業種間競争の激化がみられ、売上は減少している。またその後の売上も改善しない。	
	スーパー(営業担当)	単価の動き	・既存店の売上は前年の99.7%で、来客数は100%を超えているが、買上点数や単価が100%を割り込んでいる。客単価の落ち込みは激しく、年明けの消費は低迷している。	
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・寒さで来客数が減少している。また年中商品のビール類の販売量も減っている。さらに飲食店向けの売上も、新年会シーズンにもかかわらず良くない。	
	家電量販店(店員)	来客数の動き	・プラズマテレビ、液晶テレビの販売によって客単価は維持しているが、来客数が若干減っている。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・年明けの数日間は忙しかったが、中旬以降は客が一組だけの時もあれば団体客が来る日もあったりと、来客数の変動が激しい。週末はそれなりに混むが、全般的には来客数は減っており、売上も減少している。	
	都市型ホテル(支配人)	来客数の動き	・今月の宿泊者数は、過去になく低迷している。2月以降の予約の動きも鈍い。宴会需要も低迷しており、会議が主体となっている。	
	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・海外旅行の申込はそこそこあるが、国内旅行客が極端に減っている。	
	美容室(経営者)	来客数の動き	・年末年始はそれなりの来客数があったが、それ以外は特にイベント期間外で客の動きがあまりない。	
	悪くなっている	美容室(経営者)	お客様の様子	・昨年より寒い天候が続いているため、髪を伸ばす傾向にあり、客の回転が悪い。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・客の回転が悪くなっている。
美顔美容室(経営者)		販売量の動き	・昨年8月からホームケア・キャンペーンを展開してきたが、ほとんどの客が家で使う商品を購入し、その商品がまだ残っているため、来客数、売上とも減少している。	
住宅販売会社(企画担当)		来客数の動き	・来客数は3か月前の3分の1程度に減っている。	
コンビニ(エリア担当)		来客数の動き	・昨年12月の売上は平均で前年割れしていたが、1月はさらに5%落ち込んでいる。客単価も低下しているが、何よりも来客数が激減している。	
衣料品専門店(経営者)		来客数の動き	・様々な面で良くないが、一番大きいのは来客数の減少である。	
その他専門店[貴金属](店長)	お客様の様子	・以前よりも分割払いによるクレジットカード利用が増えている。		
一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・寒さのためか、客足は非常に悪い。		
美容室(経営者)	それ以外	・12月末からの雪と寒さで、客の出足が悪くなっている。特に客層に高齢者が多いため、大きな影響を受けている。		

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・出荷量が増加しており、受注単価も上昇傾向である。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・多くの個人商店で、広告予算の拡大がみられる。中小企業経営者の話でも、特に製造業の受注量が激増している。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原材料価格の値上がり分の製品価格への転嫁が、徐々に進んでいる。出荷量も、特に半導体関連で増加している。
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・当社の生産量は全般的に増加している。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車製造関連の設備投資の受注量は、引き続き増加傾向にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・既存設備の更新や金型などの設備投資の受注、引き合いが若干増加している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車産業の設備投資関連をはじめ、受注機会は引き続き堅調に増えている。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・見積依頼など引き合い件数が増えている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラック貨物量が増加傾向にある。運転手を募集してもほとんど応募がないほど運送業界では運転手不足であり、これを背景に運賃の見直しも少しずつではあるが進んでいる。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・例年この時期は貨物の動きが減少傾向になるが、今年は引き続き大きな物量が維持されていて、航空貨物のスケジュールは過密になっている。
		金融業（決算予算担当）	取引先の様子	・クレジット債権は、勢いはやや収まってきているものの、ショッピング売上をはじめ年率10%前後の伸びを維持している。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連からの仕事で、非常に忙しい状態が続いている。設備投資に前向きな企業が多く、全部の案件を引き受けきれない状態である。
	変わらない	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き、販売量は堅調に推移している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・長引く原油価格高騰の影響で、顧客に納入した自家発電装置の運転費用が上昇しているため、運転時間が大きく減少している。そのため、定期補修のメンテナンス期間が延びており、点検修理などの売上が減少傾向にある。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は、低価格化傾向や需要低迷などから横ばいとなっている。ただし、海外販売は引き続き堅調に推移している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・価格競争が激化しており、利幅は非常に厳しくなってきた。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主力取引先が経営再建中であり、明るい兆しは少しずつ見えてきているが、もうしばらく時間がかかる。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・取引先の設備投資は、倉庫や事務所を新築、増築するのではなく、倉庫を壊して駐車場にしたり、工場の一部を事務所に変えたり、元の事務所をテナントに貸したりと、非常に後ろ向きな改装工事が多い。
輸送業（エリア担当）		受注価格や販売価格の動き	・1月に入り物量は前年比100%を超え、増加している。ただし高付加価値な工業製品の動きは芳しくなく、単価の安い耐久消費財の出荷が多い。	
金融業（企画担当）		取引先の様子	・黒字を見込める企業が散見され、生命保険を通じた財務強化、事業保障等の対策を検討する企業が増えている。	
広告代理店（制作担当）		取引先の様子	・求人広告の件数は少しずつ増えているが、製品PR等の広告に対しては企業はあまり積極的でない。	
新聞販売店〔広告〕（店主）		受注量や販売量の動き	・折込広告は引き続き微増で推移している。	
公認会計士	それ以外	・担当している中小企業の業績は伸びていない。原材料費の高騰や人手不足等もあり、自動車関連以外の中小企業の業績は今ひとつである。		

		経営コンサルタント	取引先の様子	・住宅地の地価水準は、津波被害の可能性がある地域を中心に下落している。その一方で、好調企業の経営者には銀行から不動産投資の話が多数あり、土地、建物を購入する人が増えている。
やや悪くなっている		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも、前年比約5%減である。
		窯業・土石製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・例年年明けは受注量が減るが、今年は極端に少なくなっている。昨年末に異常に受注量が多かったことの反動とも思われる。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年初から需要量は全体的に減少している。
		金属製品製造業（従業員）	競争相手の様子	・自社を含め同業者では低価格でしか受注できず、利益が出ていない。
		一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・米国の自動車メーカーの不振が大きく影響し、大口案件の計画が中止になったり延期されたりしている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年明けは比較的荷動きが好調であったが、1月下旬から急激に低調となり、前年実績を割り込む状況である。
		行政書士	それ以外	・担当している企業では、正月明け以降鈍化している。
悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・売上は8.6%減、経常利益は31.8%減と、大幅な減収減益である。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料費が値上がりしているが、販売価格を上げることができず、引き続き厳しい競争が続いている。
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・企業からの派遣求人はかなり増えており、正社員求人もあふれているため、人手が全く足りない状態である。派遣でも条件の良い仕事がたくさん出てきているため、完全な買い手市場にある。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・金融関係ではいち早くリストラしたことを背景に、「2007年問題」が既に始まっており、求人数が多い。しかし求職者が少ないため需給バランスが悪く、慢性的に人材不足となっている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣の需要増加は続いている。登録者の募集に力を入れているが、登録者数は逆に減少しており、新規需要に応じきれしていない。
		人材派遣会社（経営企画）	雇用形態の様子	・企業からの技術者ニーズはかなり高い。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・求人広告件数は月末に向けて尻上がりに上昇しており、前年比115%となっている。特に製造業の求人が活発になっており、地域的にも製造業が多い浜松など県西部が極めて活発である。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・求人企業は増加傾向にあり、早期の充足を希望する企業も多い。その一方で、生産性の低い部門の廃止、整理が進んでおり、特に女性の解雇が増えている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人数の増加と年齢条件の緩和を背景に、採用者数は増加している。中高年齢層の採用者数も増加している。
		職業安定所（管理部門担当）	雇用形態の様子	・非正規社員で採用し一定期間を経過した後に適性やスキルに応じて正社員登用する求人が増えている。また、基幹人材が不足気味で、将来を見据えた求人に切り替わりつつある。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人企業の採用計画を見ると、採用抑制する企業はほとんどない。採用難により計画数の確保ができていないため、求人意欲は高まっている。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は引き続き増加している。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	採用者数の動き	・技術系求人では、相変わらず人材不足である。技術者不足が残業増につながり、業界の健全な発展が損なわれている。 ・インド人技術者の採用を始めているが、言葉の問題等もあり体制は整っていない。	
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・年明けから、転職希望の中高年齢求職者が増加傾向にある。	

	人材派遣会社 (社員)	採用者数の動き	・企業からの求人件数は見込み通りであるが、検討時間が非常に長くなっている。企業の求人意欲は切実ながら、人選にはより慎重になっている。
	職業安定所(職員)	それ以外	・派遣事業の許可届出事業所数が増加し、求人数も増加しているが、求職者は減少している。
やや悪くなっている	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・解雇、事業所廃止など、雇用調整する企業が増加している。
悪くなっている	新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・自動車関連では期間工募集などが好調で前年並みである。しかし一般求人は、昨年の中部国際空港、愛知万博関連の反動により、前月に続き前年比2けた割れである。